第2回老田小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年11月25日（月）

開催時間：19時00分～

開催場所：老田公民館

出席者：深田会長、中川副会長、渋谷副会長、秋元委員、庄司委員、
橋北委員、佐藤委員、村上委員、花崎委員、春田委員、西村監事、
宮崎委員

事務局：教育委員会事務局次長 高橋 洋
学校再編推進課長 山崎 悟
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第1回老田小学校のあり方協議会設立総会を開催する。
本日、都合により委員1名が欠席している。
会長に議事の進行をお願いする。
(会長 挨拶)

《古沢地区・池多地区の議論の進捗について》

【会長】 古沢地区、池多地区の議論の進捗状況について、事務局より報告を求める。

【学校再編推進課長】 古沢小学校のあり方協議会については、10月23日に第4回あり方協議会を開催し、協議会としての方向性について話し合われ、古沢小学校は統合するという方向性がまとめられた。また、池多小学校のあり方協議会は10月24日に第4回あり方協議会を開催し、同様に統合するという方向性で協議会の方針はまとめられた。ただし、両協議会とも統合先に

については、まだ結論を出されておらず、統合先を決めるに当たり、11月14日に両協議会合同で、老田小学校の見学会が開催され、両協議会から計14名の委員が参加された。

いずれの協議会においても、この見学会等を踏まえ、今後どの校区と統合について話し合うのかを議論し、最終的な方向性を決定する予定である。

【会長】 質問などはあるか。

【渋谷副会長】 P T Aの現役員のお子さんが1年生から3年生までで今回の三校交流会の対象だったと思うが、帰ってこられたお子さんたちはどんな反応だったか。

【委員】 私の子は、三校交流会の前から、ほかの新しいお友達ができるかもしれないと非常に楽しみにしていた。会が終わった後も何人のお友達と仲良くなれたよと、すごく喜んでいました。また、いつも習い事で会っていた友達がいて、習い事とか学校以外のところでのつながりのある子たちとの交流というものもあったようだ。

【委員】 私も子どもから、その日こういうことがあってうまくいったよというのを家で聞いた。子どもたちは友達が増えることに対して、あまり抵抗はないのかなという印象をもった。

【委員】 自分の子はすごく人見知りな子で、なかなか新しいお友達と話すことはできなかったと思うが、古沢小学校のお友達と最後のほうは交流できて、すごく楽しかったと言っていた。

【渋谷副会長】 ちょうど現1年生から3年生対象だったお子さんたちの保護者の声を聞くのが一番真実味があっているのではと思います、聞かせていただいた。

【会長】 私は当日三校交流会の様子を見に行ったが、古沢地区の長谷川会長と池多地区の林会長も参加されていた。三校交流会の様子を見て、両会長は、「少人数でやっているよりも、やはりこういう大勢の仲間で楽しそうに過ごしているのがいい。」
「どの子が古沢の子だとか池多の子だというのが分からない

くらいだ。」と話をされていた。

《老田小学校の学校再編の方向性について》

【会長】 前回の協議会において、今回までに老田小学校の学校再編の方向性について、各団体の意見集約をお願いしていた。学校再編の方向性について、統合するのか、統合せず現状のままとするのかということで、所属する団体を代表して意見をお聞かせ願いたい。まずはP T Aから願います。

【委員】 P T Aとして、統合すべきかどうかというはっきりとした結論は出ていないが、複式学級を編制している古沢や池多の保護者からは、一日でも早く統合したいといった声を聞いている。子どもたちも3校での交流をととても喜んでおり、子どもたちにとってもいいことではないかと考えている。

【会長】 他校のP T Aの会合等で、近隣の池多、古沢の方からは、複式学級の解消を目指すためには、早く統合したいという意見を聞いており、統合にも特に反対はないということでよいか。

【委員】 はい。

【会長】 次に保育所の保護者会から願います。

【委員】 老田保育所の保護者会の役員と意見交換をし、老田・古沢・池多の3校での統合には賛成だった。統合することで、児童数が増えれば、より多くの人と出会い、コミュニケーション能力がつく。また、中学校でいきなり大人数の同級生に戸惑うよりも、小学校のうちにクラス替えを経験するほうがよいと思う。遠方から来ることになるお子さんに対しては、通学時間や通学手段など、子どもたちが安全に通えるよう配慮してもらいたい。

【会長】 次に、中川副会長から順に、各自治会から願います。

【中川副会長】 東老田の自治会では、役員会で、統合に関してはどうかということで意見を聞いたところ、統合に関しては賛成である。また、来年の1月26日に総会があるため、一度皆さんにど

ういう意見があるのか聞いてみたい。

【委員】 中老田の自治会では、協議会の様子などを住民に回覧している。古沢地区や池多地区の状況も説明している。最終的には、総会での意見を確認したいと思うが、現状のところは、統合に対して異論というのは全くない。

【委員】 願海寺野々上では、まだそこまで具体的な話をしていないが、私の周りで話を聞いている方々は年配の方ばかりで、孫や子どもが近くにいない人がほとんどでありあまり積極的に話は聞いていない。人が少なくなれば、統合だろうということになると思うが総会の席で改めて確認したい。

【委員】 西二俣では、特にまだ村としての結論は出していないが、特に反対はないと思われる。総会で皆さんに話をして最終的な結論を出したい。

【会長】 民生委員からお願いします。

【委員】 民生委員では毎月定例会を行っており、統合について話をした際には、反対の意見は出ていない。統合するのであれば子どもを中心に考えていただきたいという声が上がっている。

【会長】 最後に子ども会からお願いします。

【委員】 統合するとなると、子ども会の場所が足りるのかといった心配はあるものの、基本的には地域や保護者の意向に従いたいと考えている。

【会長】 このあり方協議会の方針としては、統合の話合いを進めることで、1月の各自治会の総会を踏まえて、次回までに方向性を出すということによろしいか。

（「はい」の声あり）

【会長】 今後、どの校区と統合の話合いをするかについては、事務局からの報告があったとおり、古沢と池多地区において、既に老田小学校を含めた3校での統合について議論が進められている。そのため、老田地区としても3校での統合に向けて、体制を整えていきたい。何か意見や質問はあるか。

- 【委員】 現状、古沢・池多地区において統合に賛成しているのは何割程度か。
- 【事務局】 具体的な数字はないが、池多地区においては、PTAから自治振興会長に統合について話を進めてほしいという要望を出されている。また、古沢のあり方協議会で開催したアンケートでは、全体の57.3%が「統合するのがよい」、「どちらとも言えない」が29.9%、「統合せず現状のままでいく」というのが11.6%という結果だった。そのうち、児童がいる世帯では、「統合するのがよい」と答えられたのが67.6%、「どちらとも言えない」が23.5%、「現状のままでいい」というのが8.8%で、子どもがいる世帯ほど統合したほうが良いという結果だった。
- 【委員】 実際、私の勤務先に古沢校区で子どもを持つ社員の方がおり、早く統合してほしいという話を聞いている。
- 【委員】 今後、早い段階でやはり統合したほうが古沢、池多の方にとってもいいと思う。そうなった場合は、具体的にどのような通学の仕方を考えているか。
- 【学校再編推進課長】 通学が遠くなる場合には、スクールバスを出すことを前提としている。
- 【委員】 そのスクールバスも、台数、それから運転者が不足していると聞くが、実際に現実問題としてそれが可能なのか。
- 【学校再編推進課長】 今、水橋地区や浜黒崎地区といった統合が決まった地区においては、スクールバスが前提となる統合の合意であり、何となくでも確保するという構えで進めている。呉羽地区においても統合の話が進んできていることから、早めの検討をしているところである。
- 【会長】 切実な問題として、古沢地区や池多地区からは複式学級の解消を願う声を聞いている。それを解消するためにはどこかと統合しないといけない。池多と古沢だけで統合しても、すぐに複式学級になってしまう。とすれば、老田を併せたもので

統合の方向を考えればいいのではないかと思っている。

呉羽南部地区振興協議会というのを老田・古沢・池多の3校区でつくっており、地域的なつながりもある。

そこで、1月の自治会の総会では、今私が言ったような話をさせていただき、呉羽南部地区振興協議会の3校区で小学校を統合していきたいという意向を総会で話していただきたい。次の会合までには、老田地区としての方向性を出したいと考えている。

- 【委員】 子ども会の場所は、変わらないということで良いか。
- 【学校再編推進課長】 子ども会について以前は、1校区に1つが基本であったが、統合しても地元子ども会を残してほしいという地区もあり、今現在は、統合しても、その地区の運営協議会が継続する意思があり、学童を引き続き利用したいという保護者がいれば当面の間、維持することができる。
- 【宮崎委員】 今子ども会で使用している教室は、統合後も使用することができるのか。
- 【学校再編推進課長】 現時点では、学童の部屋を普通教室に使う予定はない。
- 【委員】 統合した後も、児童数が減っていけば、さらに統合の必要が出てくると思うが、今後の児童数の推計はあるか。
- 【学校再編推進課長】 確実性の高い推計としては現在の0歳児の人数から算出した人数になるが、3校統合した場合、令和12年には8クラスとなる状況である。
- 【会長】 今、生まれた子どもを基準にしていることから、6年後か7年後ぐらいのしか推計できていないということ。なかなか現時点で見通しはできないが、将来的には、呉羽全体の統合という話になっていくかもしれない。
- 【委員】 そういう状況を見ながら、やり方を考えなくてはいけない。
- 【会長】 まずは池多地区・古沢地区の複式学級をいかに解消することかと思うが、当初は呉羽地域全体で統合する話が出ていたが、6つの小学校を一つにするとすれば、教室の問題や、

土地の確保などのいろいろ課題が出てくるため、10年以上の時間が必要になるのではないかなと聞いている。そうすると、先ほど池多、古沢地区のPTAからは今すぐにでも統合してほしいという切実な思いを聞いている現状からすれば、10年以上も待ってられない。そこで老田小学校の空き教室などを利用して、3校統合という議論が出てきた。

【委員】 実際に統合する場合、最短でいつ頃か。

【学校再編推進課長】 今こちらで最短と考えているのが、令和9年4月。

【委員】 子どもは環境が変わったら教室に行きたくない、学校に行きたくないという子がどうしても増えてくるのではないかと思う。カウンセラーの人数の増員なども検討いただきたい。

【学校再編推進課長】 カウンセラーの配置などについても学校教育課と連携を取りながら検討したい。

《閉会》

【会長】 それでは、今後のこの老田小学校あり方協議会の進め方などについて事務局より連絡事項はあるか。

【司会】 本日、老田小学校のあり方協議会として、古沢小学校・池多小学校との統合に向けて話を進めるとの方向性が出た。次回の老田のあり方協議会の開催については、その相手先となる古沢・池多のあり方協議会の進捗状況を見ながら、開催の日を調整させていただく。池多、古沢においては、統合先の相手として想定している老田小学校の見学を行ったところであり、年内に開催する協議会において、正式に老田と話し合いを始めるということを決定されるものと見込んでいる。

【会長】 今、事務局から話のあったとおり、池多、古沢地区の方向性が年内の会合で見えてくると思われる。そうした状況も踏まえて、1月の各町内の総会で、今の現状や、池多・古沢の方が老田小学校に見学に来られた感想などを説明いただき、3校統合ということで皆さんに伝えていただきたい。それでは、

次回は池多、古沢の動向を鑑みながら、3回目の日程を決め
させていただきます。

以上で、第2回老田小学校のあり方協議会を終了する。

— 了 —